



トヨタ ヴァンガード

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0133/0134/0203/0204

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①最初に、背もたれ裏側から座面下に回り込んである生地をシート本体から外します。座面裏にフックで固定してあるので、フックを金具から抜いて外します。



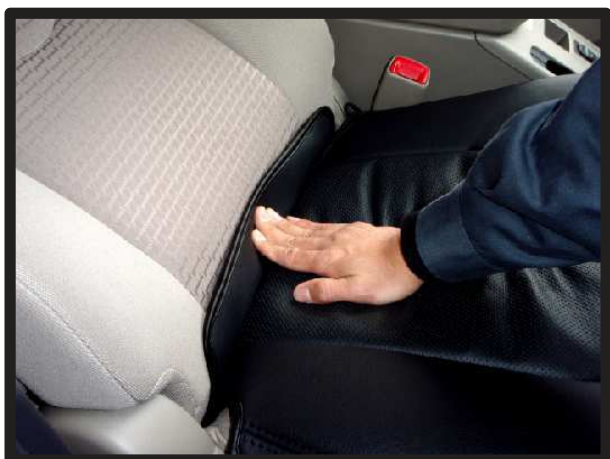
④入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



②カバー側面を裏返してシートのラインに合わせます。ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤座面カバーのヒモの付いた部分を背もたれと座面の間に入れ込み、背面に引き出します。



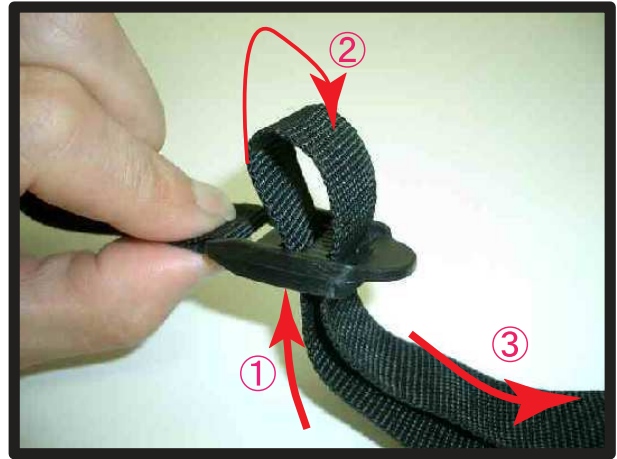
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑥内側はプラスチックカバーの下を回して背面から引き出します。



⑦シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。



⑩カバー前後にあるベルトは図の①から③の順に通し、③で通したベルトを引っ張る事で締まります。カバーの前後を締め込み固定します。



⑧⑤⑥で引き出したヒモを座面後ろで固定します。
片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通し引き絞ります。
絞り込んでから結びます。



⑪カバーのラインを整えて1列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



⑨カバー前部にあるベルト（2本）を座面下のスライドレバーの上を通して背面から引き出します。

1 列目背もたれ



①最初に、ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



②背もたれ背面下の生地をカバーの中に入れ込みます。



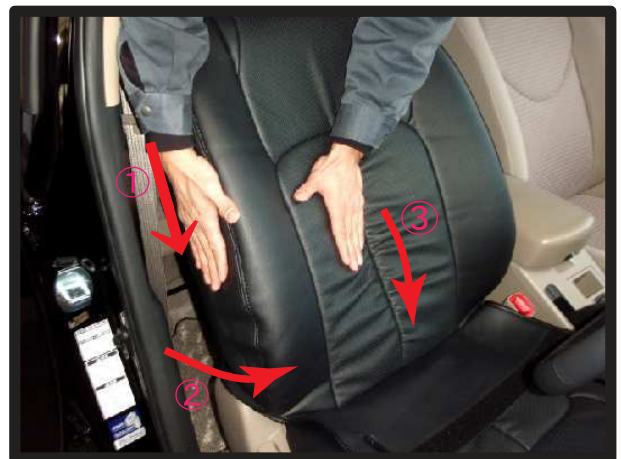
③折り返していた半分を左右均等に下まで引き下げます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑤ヘッドレストの台座部分を取り出した状態です。取り出しにくい場合はボタンの付いている側から取り出して下さい。



⑥矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



⑦ 背もたれ前面の生地を背もたれと座面の間に入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



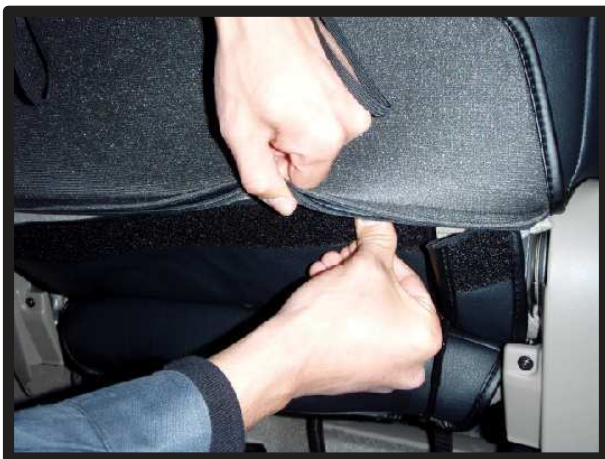
⑩ カバー背面下に付いているゴムを座面裏側の金属バーに固定します。



⑧ 入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。
この時、背もたれと座面の間にあるコードをかわします。



⑪ 固定には付属のS字フックを使用します。
図のようにゴムの端にS字フックの片側を引っかけて使用します。



⑨ 引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫ カバーのラインを整えて1列目背もたれの完成です。
助手席側も運転席と同様に取り付けます。

2列目座面



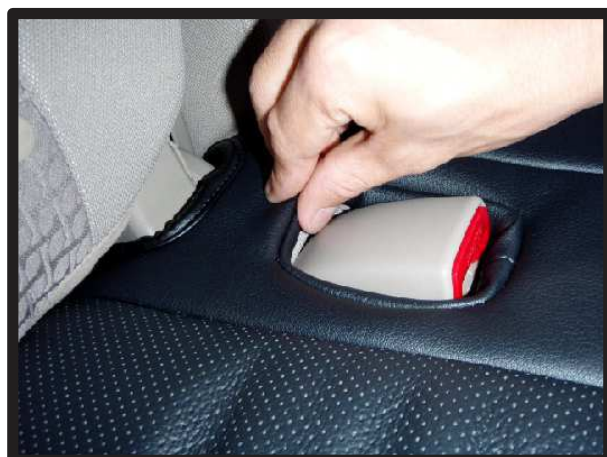
①最初に、カバーをシートに合わせ、シートベルトの受けを取り出します。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



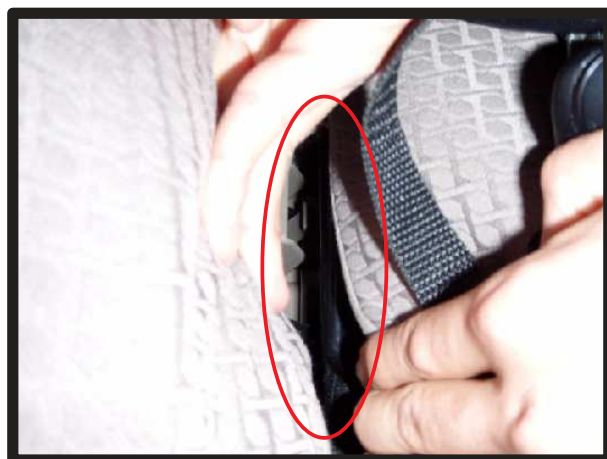
②カバー側面を裏返してシートのラインに合わせます。



⑤シートベルトの受け部分の生地は中に入れ込みます。



③ラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



⑥座面と背もたれの間の奥に金属バーがあります。カバー後に付いているベルトを金属バーより前（座面側）を通し、座面下から前に取り出します。



⑦前後のベルトを座面の前側で締め込み固定します。



⑩カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。
助手席側も一部形は違いますが、同様に取り付けます。



⑧座面カバー後ろ（アームレストの下近く）に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けて、座面裏の金属バーに固定します。

※助手席側にはありません



⑨カバー側面のヒモを座面下で固定します。片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通し引き絞ります。絞り込んでから結びます。

2列目背もたれ



①最初に、カバー後ろのファスナーを開けておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。



②カバーはシート肩口に付いているレバー部分からかぶせます。レバーをカバーの穴から取り出し、肩口までしっかりかぶせます。



⑤肩口のレバー部分の生地を台座下に入れ込みます。



③反対側の肩口もしっかりかぶせてから、1箇所に力が集中しないようカバーを左右均等に下まで引き下げていきます。



⑥カバー下のマジックテープ部分の生地を背もたれと座面の間から入れ込み、シート背面に貼り付けます。



⑦側面下のプラスチック部分をかわすように切り込みが入れてあります。マジックテープを隙間に入れ込み背面に取り出します。



⑩背もたれ背面のファスナーを閉じます。矢印の方向に生地を寄せながらファスナー部分に負荷がかからないよう慎重に閉じて下さい。



⑧背面に取り出したマジックテープをカバー側のマジックテープと留めます。



⑪背もたれ背面下側のマジックテープをシート本体に留めます。カバーの切り込みをシート本体の切り込みに合わせます。



⑨アームレスト側（内側）も同様にマジックテープで留めます。



⑫カバーのラインを整えて2列目背もたれの完成です。助手席側も一部形は違いますが、同様に取り付けます。

3列目座面

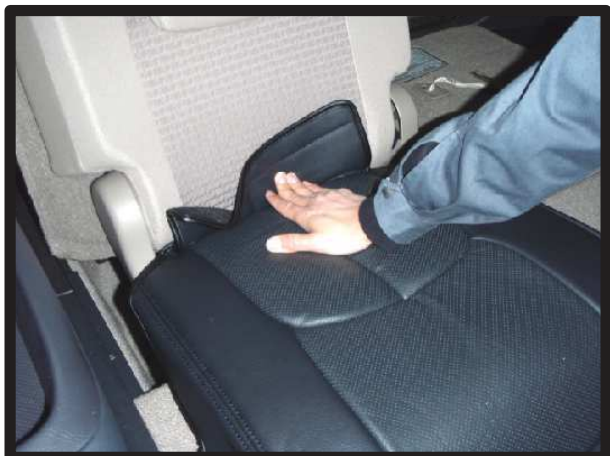
※5人乗り車には必要ありません



①ラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



④引き出した生地をシート本体に、マジックテープで留めます。



②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行ってください。



⑤側面後ろ側のマジックテープもシート本体に留めます。



③入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑥カバーの前面と側面前側のマジックテープはシート本体裏側で留めます。座面の角度を調整して留めやすい位置で行ってください。

3列目背もたれ

※5人乗り車には必要ありません



⑦マジックテープを留めた状態です。



①最初に、ヘッドレストを外します。
ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせてカバーをかぶせます。



⑧カバーのラインを整えて3列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



②ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。入れ込みにくい場合はヘラ等を使用して下さい。



③背もたれ上側の生地をシート本体のクッションと背面パネルの間に入れ込みます。

3列目背もたれ続き

※5人乗り車には必要ありません



④生地を入れ込む時に生地の左右にあるヒモを下に引き、生地とヒモを奥に入れ込みます。強く引き過ぎるとヒモがちぎれる場合がありますのでご注意ください。



④カバーのラインを上から整え、側面のヒモ部分を奥に入れ込みます。下まで入れ込み、背面パネル下の裏側にヒモで固定します。



②側面の生地も同様に奥まで入れ込みます。この時、下にあるヒモは背面パネル下側に引っかけておきます。



⑤カバーのラインを整えて3列目背もたれの完成です。助手席側も運転席と同様に取り付けます。



③カバー下側の生地を背もたれと座面の間から入れ込み、背面に取り出します。取り出した生地を背もたれ背面にマジックテープで留めます。

※床下格納について

格納を使用する際、ロックが掛かる位置までシートを押し込んで下さい。

カバーの厚みにより、ロックが掛かっている場合でも、完全に収まらない場合があります。

1 列目アームレスト



①コンソールボックスの1段目を開いて、アームレストカバーをかぶせます。図のようにカバーとゴムでコンソールボックスを包み込みます。



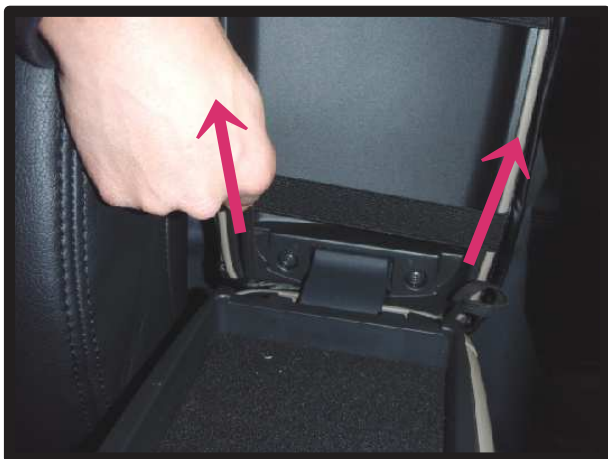
④引き出したゴム2本を結んで留めます。



②カバー後ろ側の生地をコンソールボックス後ろ側の付け根部分に入れ込みます。ヘラ等を使用すると作業し易くなります。



⑤固定した状態です。



③コンソールボックスのフタを開きます。カバーの後ろ側に付いているゴム2本を前に引き出します。



⑥カバーのラインを整えて1列目アームレストの完成です。コンソールボックスのフタを閉じる際、前側のロックが固定されているかを確認して下さい。

2列目アームレスト

下パーツ



- ①アームレスト下にカバーをかぶせます。
図を参考にカバーの前後を確認して下さい。



- ②靴下をはくように、下からアームレスト下にカバーをかぶせます。



- ③カバーのラインを整えます。

上パーツ



- ④アームレスト上にカバーをかぶせます。
カバーを半分ほど裏返して本体にかぶせます。



- ⑤アームレストの先にたるみが出ないように、しっかりと入れ込んで下さい。折り返していた半分以上を左右均等に下まで引き下げます。



- ⑥ヘッドレストの台座部分を取り出します。



⑦アームレスト下側の生地をアームレストと付け根部分に入れ込みます。



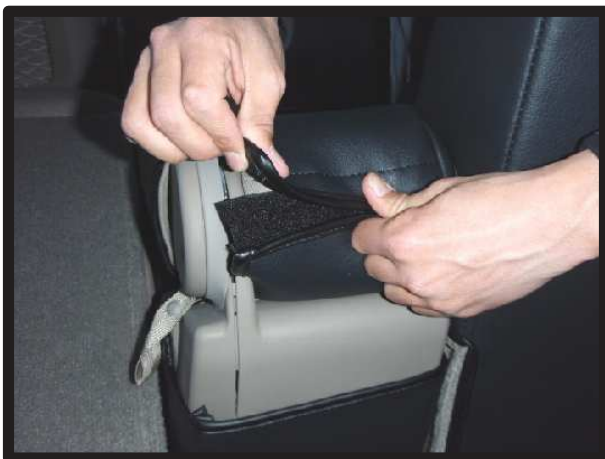
⑩ドリンクホルダーのふちに生地を入れ込みます。



⑧入れ込んだ生地を背もたれとアームレストの間から引き出します。



⑪アームレスト下側のプラスチック部分内側に生地を入れ込みます。



⑨引き出した生地とカバー背面の生地をマジックテープで固定します。



⑫カバーのラインを整えて2列目アームレストの完成です。

ヘッドレスト

※写真は別車種のものを使っています



①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてからかぶせます。



④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



②ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



⑤ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。



③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。



⑥2列目ヘッドレストカバーは、前側から引っ掛けるようにしてかぶせます。

完成写真



⑦ 1列目と同様にプラスチックフックでカバーを固定し、2列目ヘッドレストの完成です。



1列目



⑧ 3列目ヘッドレストは、2列目と同様にして取り付けます。
※5人乗り車には必要ありません



2列目



3列目(7人乗り車)



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

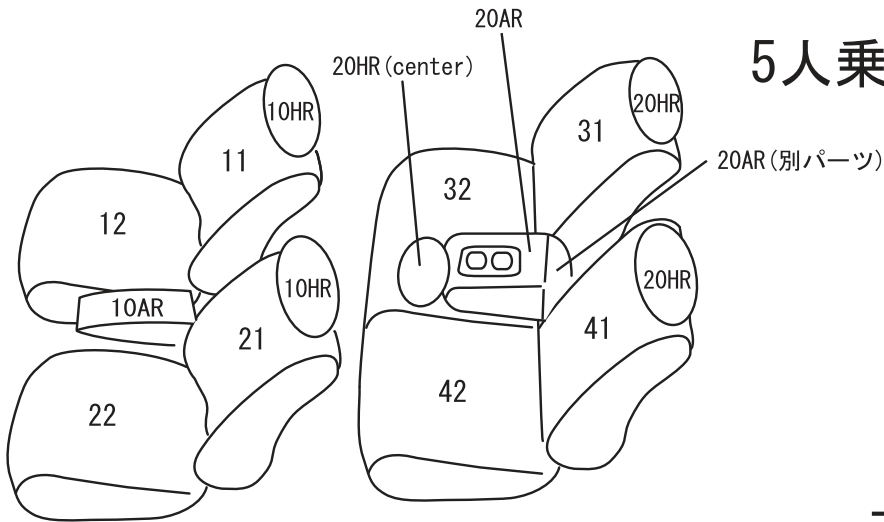
柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

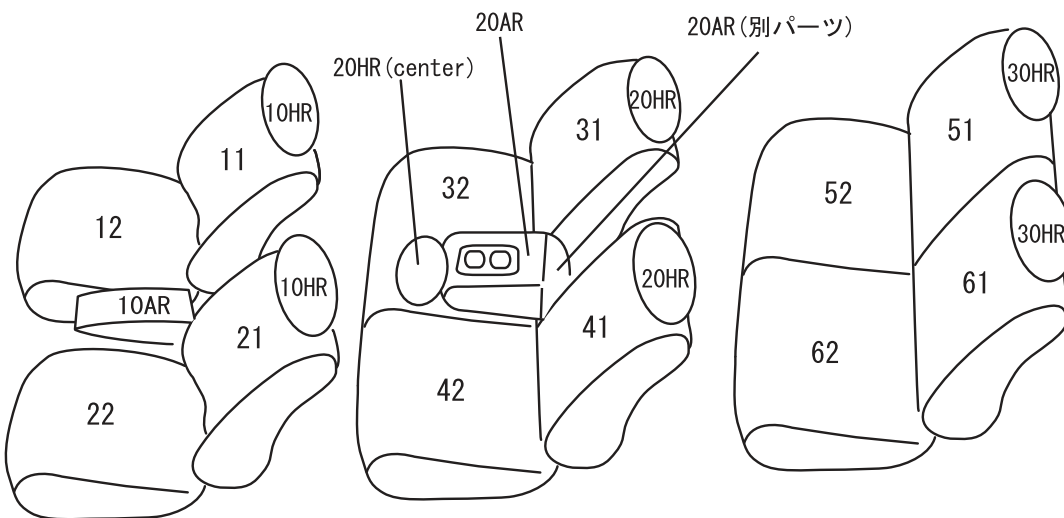


本製品シート形状とパーツの名称

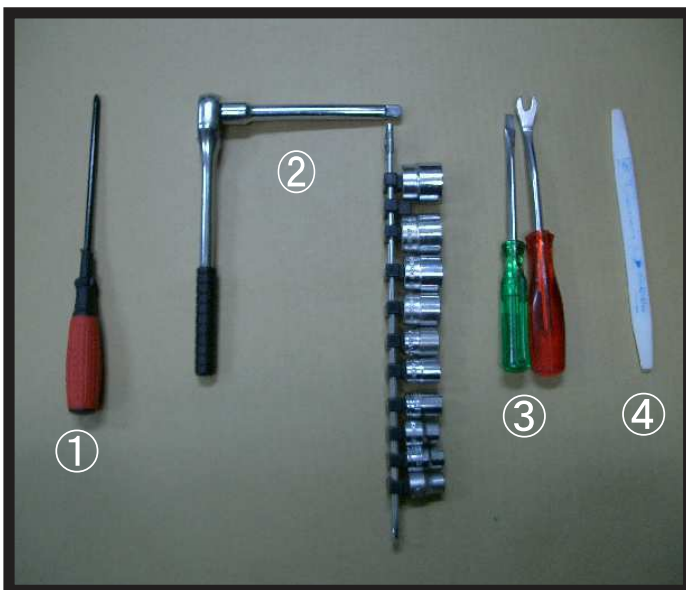
5人乗り (0133・0134)



7人乗り (0203・0204)



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。